



西会津中学校 学校だより

令和3年10月26日 第8号
発行者 校長 佐藤 崇史

雄 飛

教育目標 未来の可能性を創造していく生徒

自主

自律

敬愛

健康

光桐祭大成功 青春を駆け抜ける～扉の先にある新たな自分へ～

新型コロナウイルス感染症の拡大も落ち着きを見せ、3年生の修学旅行にも無事に出発できる運びとなりました。(修学旅行の様子は次号でお知らせします。)

さて、10月16日(土)には、第20回目の節目の「光桐祭」を大成功のうちに終えることができました。生徒たち一人一人の笑顔とその生き生きとした姿に、場を与えることの大切さを感じます。機会を与えることで子どもは成長するのだと痛感しました。子どもたちのどの発表をとっても、その与えられた発表の場で、それぞれが今できる最高の姿を見せようと努力していたからこそ大成功だったと思います。



私は、最初の集会の際に、「史上最高の光桐祭にしよう」と話しました。史上最高がどんなものなのかはわかりません。でも、自分たちで「最高だった」と思えたかどうかを問えば、きっと「最高だった」と生徒たちは話すはず。自分たちが今のベストを出し切り、新しい自分を発見できたからこそ、一人一人にとって「最高」であると感じることができ、それぞれ「史上最高」であると思います。

午前中の合唱コンクールでは、3年生の熱意に圧倒されました。それまでの学級でのドラマが、当日の合唱に表れていました。各学年の発表も、趣向を凝らし、ただ発表するのではない、少しでも楽しい時間しようという工夫が感じられました。

本当に、どの発表も素敵でした。中学生の情熱のすごさを感じずにはいられない文化祭になりました。それは、発表の内容が素晴らしかったというよりも、生徒たちの熱意が人を感動させたように思うからです。まさに、青春を駆け抜けた一日でした。そして、これまでの殻をそれぞれに少し破ることができた、新たな自分に出会うことのできた一日になったと思います。

無事に開催できたことを、本当にうれしく思います。開催にあたり、ご協力いただいた保護者の皆様に心から感謝申し上げます。そして、何より、生徒諸君。たくさんのエネルギーをもらった光桐祭でした。ありがとう。これからも新しい自分を発見する挑戦を続けてください。





保小中合同引き渡し訓練 ～災害に備えることを忘れずに～

10月6日(水)にはこども園の園児、小学校の児童、中学校の生徒の合同引き渡し訓練を実施しました。

東日本大震災の際、被災した地域の学校では子どもたちを速やかに保護者の方にお引き渡しすることが困難だったことを教訓にした訓練です。保護者の皆様のご協力のもと、円滑に子どもたちをお渡しすることができました。ありがとうございました。

福島県に生きる子どもたち、そして、あの震災を経験した私たちは、これからも継続して防災について考えていく必要があります。私たちは、あの当時、様々な苦勞をしました。やはり、備えておかなければいけないことを強く思います。決して風化させてはいけません。ご家庭でも、ぜひ、地震をはじめとした大きな災害がもしあったらどうするか、話題にしていきたいと思ひます。



ようこそ、グレゴリー先生

今月から新しいALT(外国語指導助手)として西会津町にグレゴリー・ブライアント先生がいらっしゃいました。先日、全校集会の中で自己紹介していただきました。日本語もとても上手なグレゴリー先生、これからの英語の授業が楽しみです。英語はこれからの国際社会において、大切な言語です。しっかり勉強して、コミュニケーションの幅を広げたいきましょう。



11月の行事予定

- 1日(月) 光桐祭振替休業日
- 3日(水) 文化の日
- 5日(金) リーディングスキルテスト実施
町学力向上研修会
- 8日(月) 高等学校説明会
- 10日(水) 校内駅伝大会
- 15日(月) 3年イノチャレ給食
- 17日(水) リーディングスキル授業公開
- 20日(土) ビブリオバトル福島県大会
- 21日(日) 第33回ふくしま駅伝
- 22日(月) 全学年三者面談・学習会
(29日(月)まで)
- 23日(木) 勤労感謝の日
- 30日(火) 第2回パワーアップテスト